

研究経過報告書

研究 No.				
研究テーマ				
研究代表者	年 組			
メンバー	年 組		年 組	
	年 組		年 組	
	年 組		年 組	

1. 研究経過報告

① 研究計画書を提出後、これまで行なってきた研究活動の内容を、時系列で整理し、記入してください。

日付	研究活動の内容

(行が足りない場合は、挿入してください)

② これまでの研究活動において明らかになったことは何ですか。

--

2. 研究経過の分析

1の研究経過報告をもとに、現在の研究状況について分析しましょう。

① 現在の研究状況として、もっとも当てはまるものに○をつけてください。

<input type="radio"/>	おおむね当初の計画通りに研究が進んでいる
<input type="radio"/>	当初計画とは異なる部分はあるが、研究は進んでいる
<input type="radio"/>	研究があまり進んでいない

② 上記①のように判断した理由を具体的に述べてください。

--

③ 今後、研究を継続させていくにあたって、困っていることはありますか。ある場合は、できるだけ具体的に記入してください。

--

3. 「研究経過のメタ認知力* (研究経過の分析を客観的に判断する力)」の自己評価

1, 2の記述をもとに, 該当する grade に○をつけ, 自己評価しましょう。

0	以下のいずれにも達していない
1	研究経過の分析が不十分である。 そのような研究経過に至った経緯の要因は述べられているが, 不明確である。
2	研究経過を分析することができる。 そのような研究経過に至った経緯の要因が明確に述べられている。
3	研究経過を客観的に分析することができる。 そのような研究経過に至った経緯の要因を, 具体的な根拠に基づき明確に述べられている。

*メタ認知力とは

自分の行動や考え方を客観的な立場から自分自身が認識する能力のこと。ここでは, 課題研究における活動を客観的に捉え, 自己評価した上で, 制御・コントロールする能力について考える。メタ認知力を向上させることで, 「自覚する」→「考える」→「行動する」というプロセスを成熟させることができる。

4. 「研究ゴール」の再設定

実際に研究をする中で, 計画通りに進まなかったり, 思わぬ結果により展開が変わってしまったりするなど, 研究計画時のゴールの達成が難しいこともあるかと思います。研究論文提出までの研究期間は約3ヶ月です。この期間で達成可能な現実的な研究ゴールを再設定し, 記入してください。記入の際は, 研究により何を明らかにするのかを明記すること。

(研究計画時のゴールと変更がない場合は, 計画時に設定したゴールについて記入してください。)

--

5. 今後の研究スケジュール

研究論文提出を見通して, 残りの研究期間のスケジュールを具体的に示してください。

期間	研究活動の内容	何を明らかにするのか
10月上旬		
10月下旬		
11月上旬		
11月下旬		
12月上旬		
12月下旬		
1月12日(金)	研究論文提出	

6. 「研究遂行力」の自己評価

4, 5の記述をもとに, A・B・Cそれぞれについて, 該当する grade に○をつけ, 自己評価しましょう。

A. 研究プロセスの評価

0	以下のいずれにも達していない
1	研究テーマや経過の見直しや確認が不十分であり, 自分たちの思い込みで進めている部分が多い。あるいは実行がほとんどともなっていない。
2	研究テーマや経過の見直しや確認がある程度できており, 研究を実行できている。
3	研究テーマや経過を常に見直しながら研究や活動を実行できている。

B. 研究調整スキルの評価

0	以下のいずれにも達していない
1	焦点化された研究ゴールが再設定されていない。 今後の研究の進め方について, なすべきことが不十分もしくは不明確である。
2	ある程度焦点化された研究ゴールが再設定されている。 今後の研究の進め方について, ゴール達成のためになすべきことが示されている。
3	焦点化された, 達成可能な研究ゴールが再設定され, 具体的に示されている。 今後の研究の進め方について, ゴール達成のためになすべきことが, 実験方法の概要や役割分担等を示すことにより具体的に示されている。

C. リスクに対する態度の評価

0	以下のいずれにも達していない
1	研究の進捗状況を記録している。 実験・調査における安全性の確保, 研究で知り得た情報の安全な保管方法などを, 意識しながら研究をしている様子がところどころ記録されている。
2	研究の進捗状況をある程度記録できており, 他者への開示にもおおむね応えられる内容となっている。 実験・調査における安全性の確保, 研究で知り得た情報の安全な保管方法などを, ある程度意識しながら研究をしている様子も記録されている。
3	継続的かつ定期的に記録できており, 他者への開示にも応えられる内容となっている。 実験・調査における安全性の確保, 研究で知り得た情報の安全な保管方法などを, 常に意識しながら研究をしている様子も記録されている。